

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

スプリングローラー型スクリーン（KSR） （ケース仕様） 取り扱い設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上 ご注意

◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。



注意

◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。 ◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工

禁止



- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・下地補強無しの施工

禁止

合板の天井または壁に設置する場合

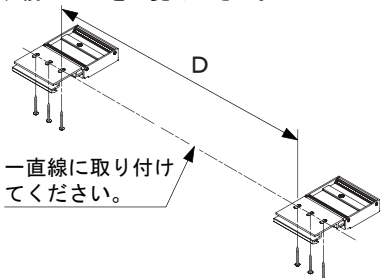


注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

1 取り付け金具(天井・壁用)の設置

例：天井壁面取り付けの場合
 取り付け金具のスライダーを固定します。ネジをすこしゆるめて、スライダーがスムーズに動く事を確認してください。取り付け金具2個の平行度を出し、付属のタッピングネジでしっかりと固定してください。取り付け穴ピッチ(D)は、前ページをご覧ください。

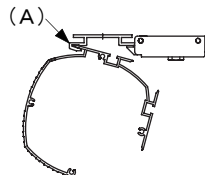


※この取り付け方法は、スクリーン単体で行う場合を表示しています。オプションのアルミ埋め込みボックスに取り付けられる時は、取り付け金具の方向が2ページの側面図のように異なりますので、ご注意ください。

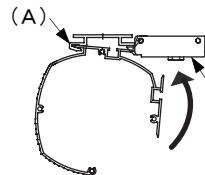
◆壁面に取り付けする場合も、同じ手順で取り付けてください。

2 スクリーンの固定

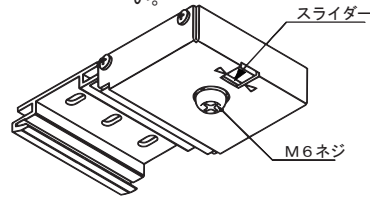
(A) ケース天面のスライドレール前部の先端を、取り付け金具前部の凹み(A)へ、しっかり奥まで差し込んでください。



(A)を支点にしてケースを円弧の動きでゆっくりと持ち上げてください。スライダーがスムーズに後退した事を確認してください。



スライダーがスライドレール部に収まった時には「カチッ」と音がします。この音が出るまで確実に押し込んでください。

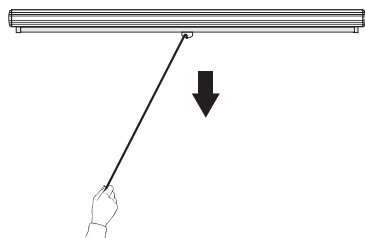


注：スライダーが▷◁マークの内側の位置までスライドしているのを必ず確認してください。この位置にスライダーがきていない場合はスクリーンが脱落する危険があります。最後にM6ネジをしっかりと締め付け、固定してください。

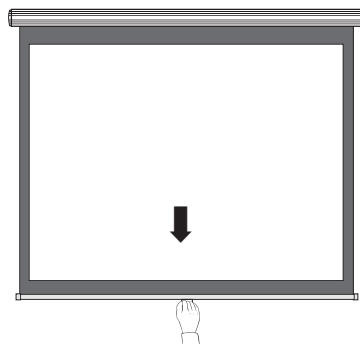
スクリーンの使い方

◆引き出すとき

1 スクリーンを引き下げる時は、付属のフック棒を使用してください。



2 引き下げ金具を持ってスクリーン面を希望の位置まで軽く引き下げてください。スクリーンは任意の位置で止まります。



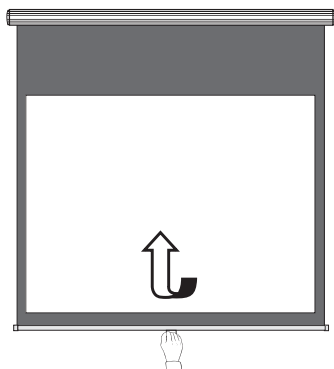
● フック棒はフック棒ホルダーにて保管できます。



◆収納するとき

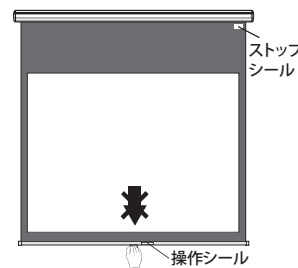
1 収納するときは、スクリーン下部の引き下げ金具を持ってほんの少し引いて手を離してください。スクリーンはゆっくり収納されます。

※注意 収納時にひきすぎるとその位置でロックがかかり、止まりますので少しだけ軽く引いてください。



注意

スクリーンの引き下げ限度を越して無理に引き下げないでください。(ストップシールが限界です。)限度を越して無理に引っ張りますと、スクリーン生地が芯のアルミローラーよりはがれて落下することがあります。



スクリーン生地の下端部のパイプに、ぶつからないようにご注意ください。



スクリーン面をきれいに保つため、ご使用のあとは必ずスクリーンをプロテクターケース内に巻き返してください。その際虫等が付着していない事を必ず確認してください。

注意

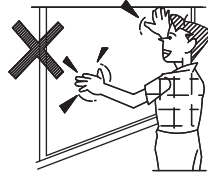
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



禁止



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



分解禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



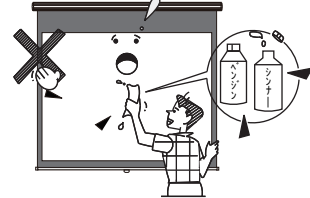
禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



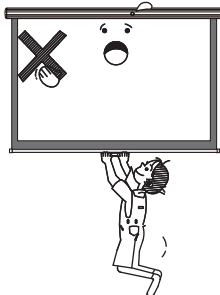
禁止



- ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



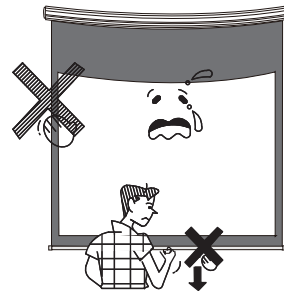
警告



- スクリーンを無理に引き下げないでください。本体または、スクリーンが脱落する恐れがあります。

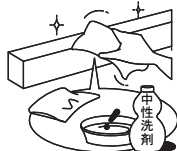


禁止

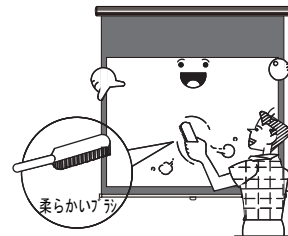


お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2005.11.KSR-S.NW

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131 (代) FAX.(03)3953-0051